ぽっく vol.26

サポセンニュースレター　2022年寒椿号



特集

p2-3

2022年、まつどでSDGs！
無理せず、できるところから

p4-5__[サポセンの事業報告]
- Let's 体験 !!2021
- 持続可能な市民社会を実現する実践研究会 2021

p6__[ある日のサポセン]
「2022年、地域で何かやってみたい！」はじめてのボランティア・市民活動のすすめ

p7__[チャレンジャー]
特定非営利活動法人ウィーズ

p7__サポセン新規届出団体

p8__[スタッフコラム]
子どもの生きる力（非認知能力）が育まれる街を目指したい

サポセン
メルマガ登録はこちら！
https://bit.ly/3gf0dh6

まつど市民活動サポートセンター
http://www.matsudo-sc.com/

2022年、まつどで SDGs！

1日ひとつ、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて行動してみませんか？



無理せず、できるところから

SDGs（エス・ディー・ジーズ）という言葉を聞くことが多くなったけれど、
日常生活の中で具体的にどんなことをすればいいの？と思っている方も多いと思います。
今回の特集では、サポセンスタッフと来館者の方々のアンケート回答から、
身の回りのSDGsの取り組みを紹介します。
それぞれの取り組みがどの目標に当てはまるか、考えてみてはいかがでしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは？
17の目標ごとの説明、事実と数字

松戸市のSDGsへの取り組み

SDGsの目標は相互関連があり、私たちの日々の行動も
17の目標に大なり小なり影響を与えています。

1 マイ〇〇を持ち歩く
（バッグ／箸／ボトル）
マイボトル持参で値引きになるカフェも増えてきました！

2 賞味期限間近のものを買う
（「てまえどり」）
割引していることもあってお得

3 野菜くずを出さない
出た生ゴミはコンポスト化する・庭に埋める

【コンポスト】生ごみなどからできる堆肥・それを作る道具のこと

「生ごみ処理容器等購入費補助金制度」や「食品ロス」などごみの減量についてはこちら→ 松戸市

4 包装容器のリサイクル
（牛乳パック・プラスチックトレイなど）

5 ひと駅位は歩く
車を使わず自転車で移動・公共交通手段を使用する

6 スローファッションを心がける
例えば…古着を買う、服のリメイク・リサイクル

友人にあげる、回収ボックスや市民活動団体に寄付する

松戸の市民活動団体、どこに渡せばいい？不明な場合はサポセンに！

7 寄付をする
災害被災地・開発途上国支援団体などへ
ベルマーク、使用済み切手の寄付

8 街頭や河川敷の清掃活動に参加する

9 間伐材を使用した紙製品を選択
例えば…
FSC® 認証製品（Forest Stewardship Council®：森林管理協議会）
FSCジャパン

10 江戸川松戸フラワーラインの種まきに参加
←江戸川松戸フラワーラインとは
松戸市

11 市民活動団体の活動にボランティア参加する
それぞれの団体に合ったゴールがあります。
活動すること自体が、17の促進になります。

12 SDGs関連の情報をSNSでシェア

13 水道の流しっぱなしをしない
コップや桶などをうまく使って水を節約する、
湯船の水でまとめて洗濯をする

14 残さず食べる
食べられる量だけを買う

15 どんな方でも！ みんなが集まる通いの場、運動サークルに参加する→認知症予防
松戸市オレンジ協力隊員でパトロールや体操等高齢者の方々の畑仕事を一緒におてつだい！！

すべて「3 健康」に見えるけど、実はこのゴールにも！ → 11 15 17

16 つめかえ用のものを買ってゴミを減らす

17 身の回りで見かける生き物についてインターネットで調べてみる
→ 14 15

18 空調を使わず、服で温度調節
冷暖房を少なめにする

19 必要かどうか考えて物を買う
入るスペースがあるかを確認してから物を買う

20 男女一緒に家事に取り組む
例えば…1人でも生活できるように家事を子どもに教える

21 フェアトレードの珈琲を飲む
フェアトレードや商品についてはこちら→
NPO法人フェアトレード・ジャパン

22 電気をこまめに切る

23 洗剤やシャンプーは自然由来のモノをなるだけ使う

24 日常の掃除はホウキとチリトリで行う

25 偏見をしないように気を付ける
松戸市はパートナーシップ制度を導入しています。

26 ジェンダーバイアス（性別による思い込み）を意識する
「女の子だから赤」など決めつけないようにする

27 国際情勢に日ごろから意識を向けるようにする
→ 10 13 14 15 16 17

28 旬のものを食べる

29 自分を大事にする

30 身近な外国人と自国の文化（宗教・政治含め）について情報交換をする
→ 4 10 11 16 17

サポセンの事業報告1

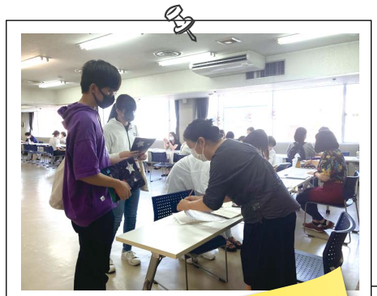


Let's 体験!! 2021

毎夏恒例 10 ～ 20 代対象のボランティア体験講座、
「Let's 体験 !!」を、今年度もコロナ感染対策をしながら開催いたしました。

前年度より参加者受け入れ数を増加させ 100 名としていましたが、それを上回る申込者数となりました。また、オンラインや外での活動だけではなく、屋内での活動も増えました。

参加者アンケートによると、もっと参加した活動について知りたい、やらされてるのではなく自らが主体となって活動できた、いろいろな人とコミュニケーションがとれた、人を支える活動にやりがいを感じたなど、活動を楽しみながら個々いろいろな気づきがあったようです。





ボランティア体験講座　Let's 体験!! 2021

実施概要

申込期間	6/20（日）～10/31（日）
マッチングの会	7/22（木・祝）完全予約 2 部制（13 時、14 時半）
活動期間	8 月～10 月（活動内容や緊急事態宣言のため延長）
受入団体数	32 団体
参加申込者数	158 名

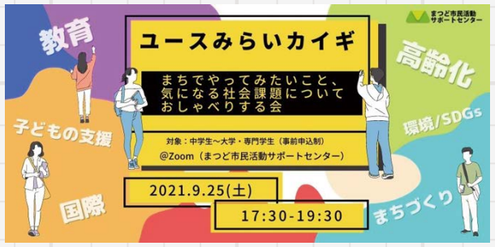




ON LINE 9/25

サポセン初 ユースみらいカイギ

9月25日に学生（中・高・専門・大学）によるユースみらいカイギ**「まちでやってみたいこと、気になる社会課題についておしゃべりする会」**をオンラインで開催しました。6名のプレゼンターが各々の活動や関心を持っているテーマについて話した後、参加者全員で話し合いをしました。全参加者がお互いを刺激し高め合える場となりました。



話し合われたテーマ

- ボランティア活動について
- 学習支援について
- ヤングケアラーについて
- 在日外国人とその子どもたちに対する支援に関して
- 地域における高齢者の活躍と多世代交流の実現について

サポセンの事業報告2



持続可能な市民社会を実現する実践研究会

地域共生社会を地域 / 市民活動の視点から考えることをキーワードに掲げ、今年度第 2 回目を迎えた「持続可能な市民社会を実現する実践研究会」。今回は、“「多様な人が共に在る場」を地域でどう創るか”と題し、市内の事例とペタゴーというデンマーク特有の専門職の視点を学ぶ二部制で開催しました。

ペタゴーとは…学校教育や支援を担うデンマーク独自の専門職。「対人のコミュニケーション」や「人間関係」など安心・信頼づくりのプロフェッショナル。人と人の関係性や対話を大事にするデンマークの中で「深い良質な学びや成長」を引き出す役割。（canvaship HP より一部引用）

第一部　市内の事例

松戸市**スクールソーシャルワーカー**（＊1）である若林はるなさんと、認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど（以下、**ふれあいネットまつど**＊2）代表の佐久間浩子さんをお迎えし、若林さんが担当している中学生Aさん（以下、Aさん）への関わりのプロセスを共有していただきました。

Aさん自身が認められる場面が必要だと考えた時に、学校だけではない選択肢もあるのではと若林さんは考えました。**ふれあいネットまつど**が頭に浮かび、佐久間さんに相談。その後、調理ボランティアとしてAさんを受け入れることとなり、高齢男性のボランティアスタッフとコミュニケーションを重ねる度に、Aさんの表情や発言の変化が感じ取れたそうです。ふれあいネットまつどが掲げる「誰でも気軽に居られる場所」として中学生でも受け入れるのが自然なことだったと、佐久間さんは語ります。

高齢者の居場所、役割や輝ける場をつくってきた経験を活かしてAさんを受け入れたことで、Aさんにとって社会の中で認められる経験に繋がったとのことでした。

学生＝学校といった限定された環境だけでなく、地域社会にも視点を広げ、そして受け入れる側は、受容する幅を広げた今回の事例は、多様な人が共に在る場を築くヒントになるのではないでしょうか。

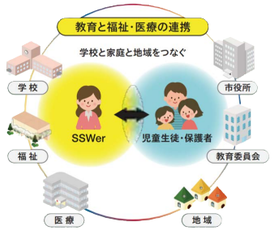
第二部　「ペタゴー」の視点を学ぶ

第二部では、**NPO法人DAKKO**（＊3）代表理事の横張寿希（よこはり　としき）さんを迎え、デンマーク教育とペタゴーについて学びました。

デンマーク教育の特徴の一つに、「自主性を育む」ユニークな教育体制が幼児期の頃から始まることが挙げられます。とはいえ、デンマークも初めから子ども教育がなされていたわけでなく、社会的に国家の体制や教育が問題視されて変わってきたと横張さん。デンマークと日本で文化や政治の違いは大きくあれど、**平等・公平の考え方（ピザの分け方**＊4）や本人の自立を重んじ意思決定をサポートしていく姿勢、そしてそれを近い距離で支援するペタゴーの関わり方は、国の施策以上に社会全体で意識を醸成させていく必要性を感じることができました。

＊1　スクールソーシャルワーカー（SSWer）

児童生徒や保護者などから毎日の生活の中で起きる困りごとや悩みを聞き、どうすれば解決できるかを一緒に考える福祉の専門職。



誰もが安心して過ごせる学校のために

松戸市では、全国でも類を見ない独自の「スクールソーシャルワーク事業」を展開。現在11名のスクールソーシャルワーカー（SSWer）が、日々子どもたちに寄り添いサポートしている。SSWerは、児童生徒や保護者などから毎日の生活の中で起きる困りごとや悩みを聞き、どうすれば解決できるかを一緒に考える福祉の専門職だ。学校や家庭・地域・行政等と連携・協力して、解決に向けて取り組んでいる。

出典：https://www.city.matsudo.chiba.jp/citypromotion/Gettoknow/seikouudoku.files/seikouudoku_6_7.pdf

---

＊2　認定NPO法人たすけあいの会 ふれあいネットまつど

1998 年より福祉ボランティア団体として設立し、2001 年に法人化。介護保険・障害福祉サービスのほか、居場所活動、東日本大震災の支援活動など、手助けを必要とする人へ『困ったときはお互いさまの精神でたすけあい』をモットーに活動している。

https://fnm2011.okoshi-yasu.com/

認定NPO法人　たすけあいの会
ふれあいネットまつど

＊3　NPO 法人 DAKKO

子どもの自己肯定感向上のため、子育て世代に対して、地域社会とつながる場づくりを行い、子育て世代の子育てへの負担・ストレスの軽減に寄与することを目的に、子育て広場の運営のほか、多胎家庭支援、教育プログラムやイベントなど精力的に開催している。

https://dakko-kosodate.com/

DAKKO

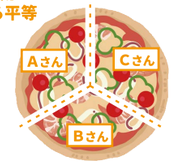
＊4　平等・公平の考え方

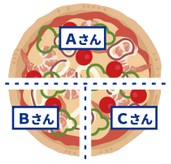
ピザの平等な分け方

3 人でピザを公平に分けると？

日本人が考える平等

「みんな」に「等しく」分配。





デンマーク人が考える平等

3人のうち誰が一番空腹か話し合って決める。

▼

その人、その人に合ったものが与えられることが「平等」であり、「公平」である。

ある日のサポセン
第15話

2022年 地域で何かやってみたい！
はじめてのボランティア・市民活動のすすめ

新年～春先の生活が変化するタイミングは、「ボランティアや市民活動をはじめたい！」という相談も増える時期。今回は実際の相談を元に、参加までの流れをご紹介します！





どんな活動があるの？

例えば…

❶公園やまちなかの**清掃**活動

❷**高齢者福祉**に関する活動
（体操教室のサポート、生活の中の困りごとの手伝い等）

❸**子ども**に関する活動（食堂／学習支援）

こんな声も聞こえてきそう…

クリーンデーやイベントをきっかけに、自治会活動に参加してます！

休日だけ／子どもと一緒に…など、ムリなく活動をしています♪

どうやって活動を探して参加すればよいの？

▸**インターネット**から（検索・団体のＷＥＢサイト）
▸**広報まつど**（市の広報誌）
→ 申込方法に則り、団体の代表の人に問い合わせてみましょう！

▸**まつど市民活動サポートセンター**
▸**ボランティアセンター**（松戸市社会福祉協議会）
http://www.matsudo-shakyo.com/u/volunteerActivities/pkyn7gaummob6b
→ 窓口で相談をしながら自分に合った活動を探すことができます。参加までのサポートはもちろん、これから活動をしたい人向けの講座を開講していることも！

こんなとき どうすればいい？

実際にあった相談・トラブル事例

約束していた日が都合が悪くなった！

受入れの準備を行っている団体もあるので、早めに団体へ連絡をしましょう。

活動のケガなどが心配…

ボランティアセンターで加入できるボランティア保険（基本プランの場合 350 円／1 年間）の活用もおすすめです。
（※一部補償の対象外となる活動もあります）

活動中の集合写真をＳＮＳに掲載したい

写真を載せられない活動もあります（子どもに関する活動等）。活動について気になることや、不安なことも含めて、事前に相談することがおススメです。

これからも参加してほしい、と言われたけど…必ず続けなきゃダメ？

難しい場合は理由を伝えてお断りしても大丈夫です。自分が居心地がよい・活動に共感できると思ったらぜひ参加してみてくださいね。



サポセンでは市民活動団体の情報チラシの掲示や、マッチング相談も通年で行っています♪

「今度こんなことを近くでやるんだ！」…と新たな出会いに繋がるかもしれません。ぜひ、自分の「地域で何かしてみたい！」と思ったタイミングでふらっとお立ち寄りください。

CHALLENGER
チャレンジャー 市民活動団体紹介

NPO法人ウィーズ

お問合せ
代　　表：光本　歩
E-mail：info@we-ed-s.com
ホームページ：http://we-ed-s.com/



月に１回、10 代 20 代の若者の居場所コミュニティイベントも開催しています。（わかばカフェ）

ＬＩＮＥ相談を始めとする相談支援、子どものためのシェルター的居場所〝みちくさハウス〟の運営、別居や離婚で離れた親子の交流支援などを行っています。

みちくさハウス 24時間子どもを受け入れることのできる居場所

緊急事態宣言による自粛期間中、家出をした中学生の支援のために交番に話をしに行くと、「(そちらの団体で)かくまえる家はないのか」と警察官に逆に相談されたそうです。その前から、団体で運営していたＬＩＮＥ相談には「死にたい」「家出したい」「パパ活する」などと切迫した子どもたちの相談やつぶやきが多く届いていました。それらの状況に24時間子どもを受け入れることのできる居場所をつくることを決意。物件を探す中で理解のある大家さんに出会うことができ、２０２１年７月、松戸市上矢切に「みちくさハウス」をオープンさせました。

移動する子ども食堂 一般社団法人子供プラス未来・マルキ松戸店とコラボ

２０２１年11月14日に、一般社団法人子供プラス未来とパチンコ店のマルキ松戸店とコラボし、から揚げ入り焼きそばとホットドッグを各１５０食、事前申し込みされた18歳以下のお子さんがいるご家庭に無料提供する子ども食堂を行いました。

ウィーズが取り組む居場所や子ども食堂は、誰もが利用できることで、支援にたどり着けない方も参加しやすい形にしているそうです。別居や離婚、また各種支援なども、大人の都合や思惑で物事が進んでしまうことで、子どもの思いや意思がないがしろにされてはいないか…？徹底的に「子どもの立場」に寄り添い活動しているウィーズのチャレンジに、これからも大注目です！





移動する子ども食堂の当日の様子。



みちくさハウスの外観。子どもはいつでも来てね！（夜間は予約制）

NEW REGISTRATION

サポセン
新規届出団体
を紹介します！

■風の谷・がん哲学外来カフェinいちかわ ■本田式 ■みなみ保育園保護者会
■保健師“みちしるべ” ■松戸南保育園父母の会 ■こすもすカレッジ矢切教室
■theater apartment complex libido: ■梨っこ子ども食堂 ■つくしっこ
■街のコーチング屋さん ■銀声会 ■あさま会 ■パパLABO ■フラワーサークルももの実
■上矢切第一長寿会 ■まつどSDGsノウエン

2021年10月1日～2022年1月31日（届出順・敬称略）

Staff Column スタッフコラム

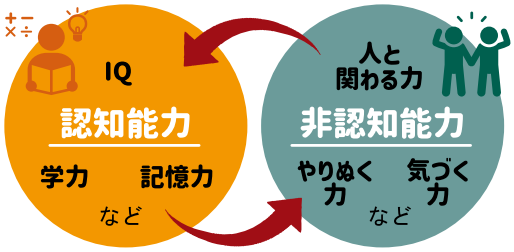
子どもの生きる力（非認知能力）が育まれる街を目指したい

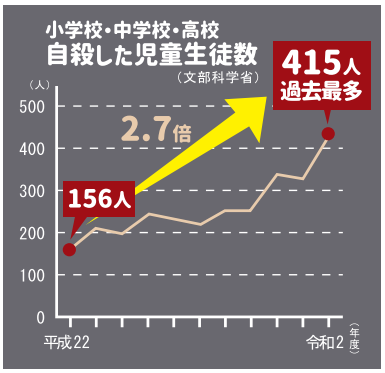
「4－5人」この数字が何だか分かる方はいるでしょうか？令和2年の1年間に自殺した小中高の児童生徒数です。実は全世代における自殺者数は年々減ってきているにも関わらず、この世代は増加傾向にあります。微力ながらこの10年子どもたちに関わる活動をしてきた身としても、とても悲しい気持ちになる結果でした。子どもたちの生活に何が起きているのか、またどうすればより良い未来を作っていくことができるのでしょうか？

子どもたちの生きる力を育む上で「非認知能力」というキーワードが着目されています。これはIQや学力といった数値化しやすい能力ではない、目に見えづらい力のことを指します。例えばコミュニケーション能力や自己肯定感、粘り強く頑張る力など。最近では大規模なアンケート調査から、経済的貧困が与える非認知能力への影響なども明らかになっていたり、子どもの頃に自然体験を多くしていた子どもは自尊感情が高い傾向にあるといった結果も示されています。

一言でまとめてしまうならば、子どもの時（特に乳幼児における親の声かけや愛着関係）の育つ環境によって、よくも悪くもその後の人生に大きな影響を与えてしまいます。しかしニュースでも話題になった「親ガチャ」なんて言葉が流行ることがない社会にしたいです。

どんな境遇に生まれてきても、子育てが親だけの責任に委ねられるのではなく、街全体でその子をその子らしく育めるような街を目指して、想いを共にする人たちを増やしていきたいですね。









まつど市民活動
サポートセンター
センター長・コーディネーター
阿部剛

サポセンニュースレター
ぽっく

第26号（2022年寒椿号）
発行日：2022年1月31日
（※年4回発行）
発行元：まつど市民活動サポートセンター
（指定管理者 NPO法人まつど NPO協議会）

「ぽっく」の主な設置場所
松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅などに設置しています。

「ぽっく」設置協力店

- Sampo Café（八ヶ崎7丁目）
- 松戸探検ひみつ堂（松戸1874）
- 子育てつながるセンター co-no-mi（本町13-27）
- 松戸観光案内所（本町7-3）
- やしま商店（本町6-3）
- 隠居屋 IN kyo-Ya（南花島中町196）
- はれの日サロン（常盤平3-10-1 セブンタウン常盤平1階）
- omusubi 不動産（稔台1-21-1 あかぎハイツ112）
- Coworking Space Flat Café & Bar（新松戸3-289）
- 昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿（千駄堀620-1・栗山19-4・殿平賀75-2）
- 松戸スタートアップオフィス（松戸1307-1 松戸ビル13F）

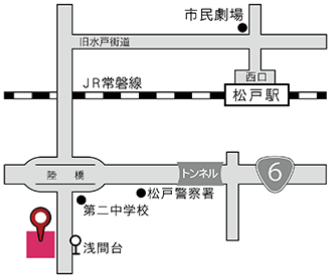
「ぽっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します！

ニュースレター「ぽっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？
ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介いたします。
もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。広告掲載も募集中です。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。

まつど市民活動サポートセンター
〒271-0094　松戸市上矢切299-1（総合福祉会館内）
TEL：047-365-5522　FAX：047-365-5636
E-mail：hai_saposen@matsudo-sc.com
URL：http://www.matsudo-sc.com/
facebook：https://www.facebook.com/matsudo.sc

開館時間
月～土：9時～21時
日：9時～17時

休館日
第1・第3水曜、年末年始
（12/29～1/3）



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用に制限がある場合があります。詳細はサポセンホームページをご覧ください。

編集後記

サポセンで働き始めて初の冬。この広くて風通しのよい施設はなかなか寒いので、重ね着が流行ったころのハイネックを引っ張り出し今年はヘビロテしてます！（さ）